

だいち通信

VOL. 68



〒080-0016 帯広市西6条南6丁目3番地ソネビル2F TEL (0155)-24-8989 FAX(0155)-20-7367
E-mail shien-daichi@ymail.plala.or.jp URL http://www.keisei-kai.jp/daichi/

新年度あいさつ

新しい年度がスタートしました。「障害者雇用促進法」における法定雇用率の再設定や「障害者総合支援法」における報酬改定等、障がい者雇用を取り巻く環境は年々変化が大きい分野であると感じています。当センターとしても、最新の動向を注視し、皆様に役立てていただける情報をお伝えできるように引き続き事業運営を行っていきたくと考えます。

一方で、法制度や体制・環境が整備されてきている今だからこそ、「障がい者雇用・障がい者福祉」の理念・意義・価値について、再度皆様と一緒に考えていきたいと強く感じているところです。制度やサービスが多様化することによって本質を見失わないように、地域にとって、障がいをお持ちのご本人にとって本当に良い制度・支援は何なのかを常に念頭に置きながら、今年度も皆様とともに十勝管内の就労支援の一助となるように活動して参ります。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

センター長 新明 雅之

令和5年度 実績報告 ～毎年、厚生労働省と北海道に報告している年間の実績数をお知らせします～

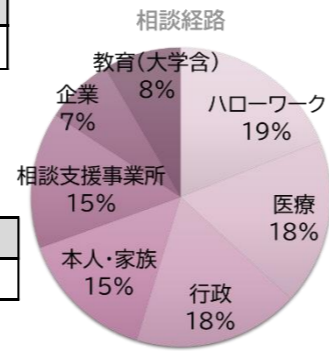
支援対象登録者数	身体	知的	精神	その他	合計
	9 (1)	229 (51)	153 (13)	95 (21)	486
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	(86)
	80 (20)	2 (0)	5 (0)	8 (1)	

○の値は 新規利用者の内訳です。

相談支援件数	身体	知的	精神	その他	合計
	108	3,485	3,875	1,789	9,257
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	1,626	14	36	113	

就職件数	身体	知的	精神	その他	合計
	0	31	17	14	62
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	13	0	0	1	

職場実習 斡旋件数	身体	知的	精神	その他	合計
	0	68	15	23	106
その他内訳	発達	難病	高次脳	その他	
	19	0	0	4	



今年度は約120名の新規相談がありました。ハローワーク・医療機関・行政機関からの紹介が多く、関係機関の皆様との連携で成り立っていると感じます。また、令和5年度は、就労継続支援B型事業所との連携を強化し、アセスメントや企業とのマッチングで就職につながり取り組みを行いました。その取り組みの中、就職に至った事例が10件あり、福祉から企業就労への後押しになりました。全国的な傾向と同様に、十勝でも雇用したい企業よりも求職者が少ない状況があり、就労系障がい福祉サービス事業所の企業就労へ向けた具体的な取り組みを期待したいところです。

新職員の挨拶

さかい はなえ
酒井 花笑

4月1日に入职いたしました。帯広で育ち約10年ぶりに帰郷しましたが、お店が変わっていたり、新しい道路ができていたり記憶にある町並みからずいぶん様変わりして驚いています。だいちでは就労支援ワーカーとして勤務させていただきます。不慣れなことばかりですが、一つずつ仕事を覚えて、早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新職員の挨拶

おおば
大場 しおり

4月から生活支援ワーカーとして勤務させていただきます。大場しおりと申します。突然ですが、帯広での皆様のイチオシのお店は何でしょうか。私は食べることが大好きですが、初めての帯広なので教えてください。とても嬉しいです。さて、新卒で勤務することになりましたが、社会人としてワーカーとして、未熟なところがたくさんあります。先輩方からたくさん学んで精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。

配置転換の挨拶

みうら まきこ
三浦 真希子

4月に同法人の「帯広市自立相談支援センターふらっと」より配置転換となりました。キャンプ大好き☆三浦真希子と申します。だいちでは就労支援ワーカーとして勤務させていただきます。不慣れで知識不足なため、初めはご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。おすすめのキャンプ場がありましたら、ぜひ教えてください☆

TOPICS

民間企業の障がい者雇用率が引き上がりました

()内は対象となる民間企業の常用雇用労働者数



障がい者雇用における地域課題とだいちの取り組み

障がいのある求職者の企業就労への鈍化傾向に加え、障がい者雇用率がさらに上がり雇用率未達成企業解消が進まない状況です。また、50名前後の地元企業が多い十勝においても、積極的に取り組み活躍できる人材として成長を促している企業と、求職者の確保に向けた対策に苦慮している企業の二極化がすすんでいます。

求職者のもつ課題

- ・ 個々人の抱えている課題の多様化
- ・ 企業就労への準備のすすめ方がわからない
- ・ 過去の離職経験により再度踏みだす自信を持ってない
- ・ 採用に至らない課題や離職に至った課題を経験として深めていきづらい

企業のもつ課題

- ・ 雇用のすすめ方の知識不足
- ・ 障がい者雇用の重要性やメリットの社内理解の難しさ
- ・ 障がい特性に合わせた環境整備等の難しさ
- ・ 雇用後、起きた問題に対処できる社員が不足していることで定着が難しい

関係機関(支援員)のもつ課題

- ・ 事業所運営のために利用者を確保、維持しなくてはならない
- ・ 多様化するサービス利用目的へ対応する必要がある
- ・ 企業就労に向けた支援体制の取りにくさ
- ・ 就労定着に向けた経験の積みにくさ

求職者へのサポート	職業準備プログラム
求職者への支援	求職者向け研修
在職者へのサポート	定着支援研修会の開催
	余暇支援
雇用相談(採用・定着)	雇用促進・就労定着プロジェクト
企業への支援	福祉事業所見学会
	企業担当者向け学習会
	雇用セミナーの実施
	職場定着のための訪問による支援
支援員へのサポート	就労支援スキル向上研修
関係機関への支援	就労支援連絡会の開催
	行政福祉担当者研修の開催
市町村行政へのサポート	就労支援ネットワークセミナー

誰もが自立した職業生活がかなう地域になるためには 障がいのある方×企業×福祉×行政 地域全体の連携が必要！

2024年度 スタッフ体制

センター長	新明 雅之	[配置]主任職場定着支援担当者
地域就労支援係長	佐藤 尚美	[配置]主任就業支援担当者
就業支援担当者	高須 久美	
	福山 雫	
	三浦 真希子	法人内他部署より配置転換
	酒井 花笑	新規入職
生活支援担当者	後藤 友美	[兼務]訪問型職場適応援助者
	大場 しおり	新規入職

障がい者雇用に関わる関係者が、地域課題を共有し障がい者雇用に対する共通認識を持つことが必要です。それぞれの置かれている状況や抱えている課題を個別でお聞きしながら、十勝の障がい者雇用のあり方をさらに検討する1年にしたいと考えています。